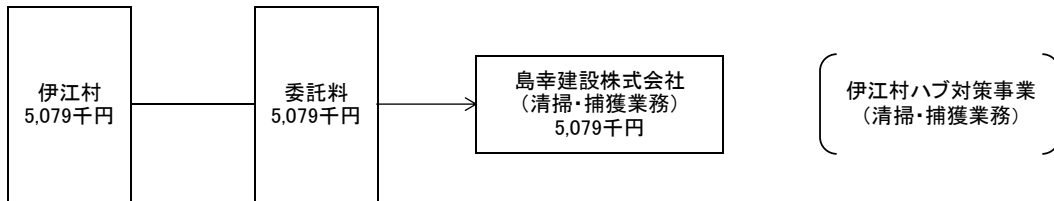


市町村名		伊江村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア		
	担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度 平成27年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備 Ⅲ-12		
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	5,000	5,600	5,600	5,600	6,000
	(b)予算現額	4,330	4,320	4,925	5,078	5,079	
	(c)増減額(b-a)	▲670	▲1,280	▲675	▲522	▲921	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	4,330	4,320	4,925	5,078	5,079	
	B.執行済額	4,330	4,320	4,925	5,078	5,079	
	うち交付金充当額	3,464	3,456	3,939	4,062	4,063	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残及び改定契約により921千円減額した。改定契約による減額理由については、捕獲器へ入れるマウスの飼育時における死亡や・追加購入ができなかった(売切れ)ことが原因である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	ハブ生息地の清掃実施(26,000m清掃)	目標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
		実績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
捕獲器の設置(15基設置)	目標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)		
	実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 令和2年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は3匹であった。引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	ハブ咬傷による被害件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		1件	1件	0件	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件ずつハブによる咬傷被害が発生しており、目標は達成できなかったが令和2年度はハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・これまでの清掃業務は除草作業が主で実施していたが、樹木の剪定、枝打ちなどを行ったことで、フェンス外からハブの侵入を阻止できたものと思われる。</p>	<p>・観光地や住宅地を中心に捕獲機を設置してきたが農業用地及び農業施設の周辺など設置地域を拡大し捕獲率の向上を図る必要がある。</p> <p>・これまでの清掃業務は除草作業が主であったが、樹木の剪定、枝打ちなどを引き続き実施することでハブの侵入を阻止を図りたい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・別タイプのハブ捕獲機(3器)も試験的に設置し捕獲率の向上を図りたい。</p> <p>・目撃情報は主に区長会や住民の通報に頼っていたが、村内農業団体他へ目撃情報の提供依頼を行い、新規設置場所の検討を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,079	5,079	4,063	1,016	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として村の格付土木B(造園工)を抽出し入札を執行していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

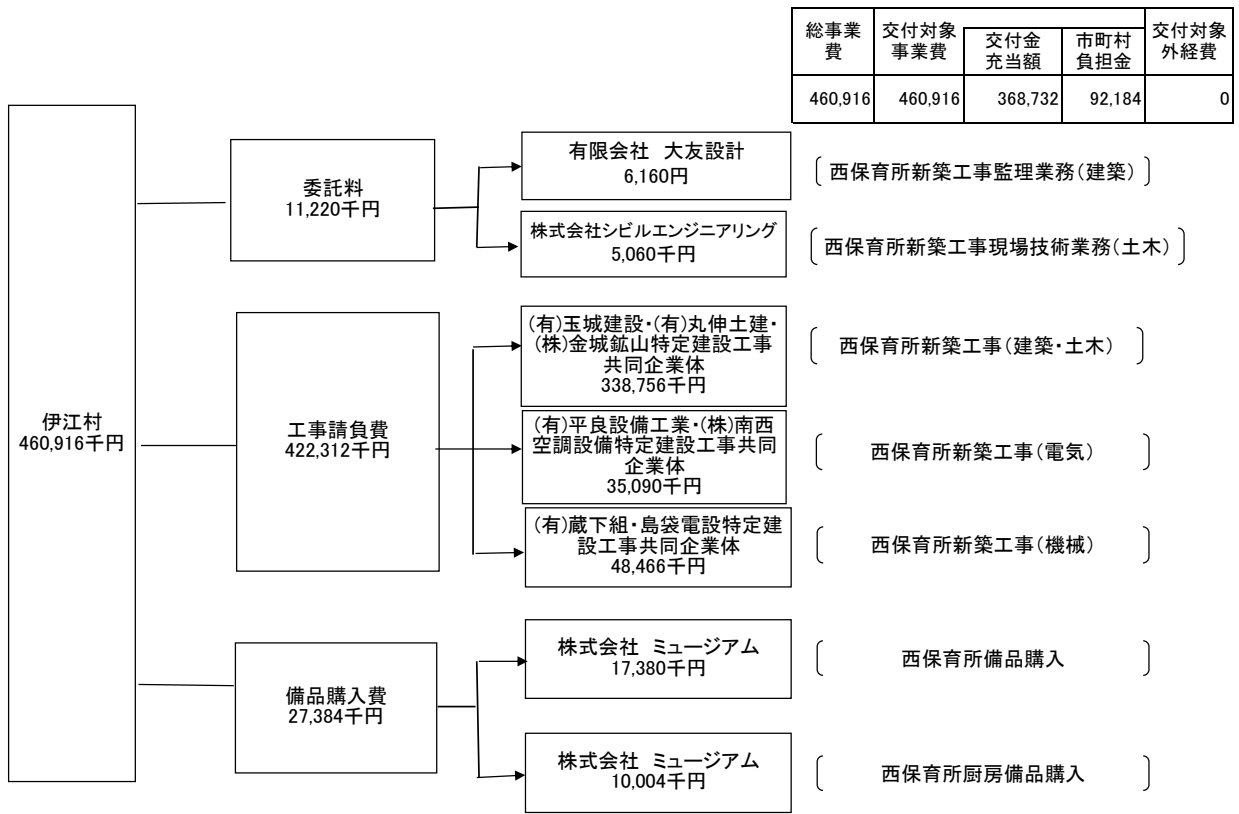
市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	村立保育所整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実		
事業内容	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		54,511	462,910			
			49,077	460,916			
			▲ 5,434	▲ 1,994	0	0	0
			—	—			0
			49,077	460,916	0	0	0
	B. 執行済額		49,077	460,916			
	うち交付金充当額		39,261	368,732			
	次年度繰越額		0	0			0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な事業執行ができた。なお、当初予算からの減額(▲1,994千円)については、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・保育所建築工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	・電気設備工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	・機械設備工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	・周辺整備工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	・備品購入	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値 (年度)	R2年度	目標値 (R3年度)		
	・保育所建築工事完了	目標 () (完了)	()	(完了)	()	()
	実績		完了			
・電気設備工事完了	目標 () (完了)	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
・機械設備工事完了	目標 () (完了)	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
・周辺整備工事完了	目標 () (完了)	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
・備品購入完了	目標 () (完了)	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
【R3成果目標】 幼児が安心安全に過ごせる環境が整備されたか(80%以上)を含め保護者へアンケートを実施することにより本事業を検証する。	目標 () () (80%以上)	()	()	()	()	()
	実績					
【R3成果目標】 待機児童ゼロ	目標 () () (待機児童ゼロ)	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	令和2年度は成果目標である、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、周辺整備工事、備品購入を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である施設整備及び備品購入について、スムーズに事業を執行することができた。 ・施設整備後の運用について、近年変化する保育ニーズへの対応など、様々な問題に対する迅速な対応等の課題が挙げられる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・西保育所の施設整備後に発生する新たな課題や問題点については、アンケート調査等により保育士や保護者の方から多角的な意見を聴取することで、子育て世代のニーズを的確にとらえた保育環境を確保するとともに、子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を目指す。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



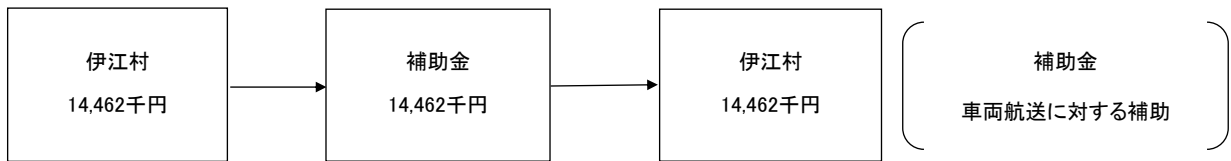
資金 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支出先の選定方法については、指名競争入札により選定しており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模は、目的に即した事業内容で実施できたことから、適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途に関しても検査した結果、適正と判断した。

市町村名		伊江村										
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	3-①		自動車航送コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア						
	担当部署名	公営企業課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減					
事業内容		離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、経済的な不利性をもたらず割高な交通運賃は、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減事業について往復1台あたり820円の支援を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。					Ⅲ-9					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		
		(a) 当初予算額	12,960	14,580	14,013	14,175	15,170					
	(b) 予算現額	14,220	14,215	14,923	15,866	14,595						
	(c) 増減額(b-a)	1,260	▲ 365	910	1,691	▲ 575						
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-						
	A. 計(b+d)	14,220	14,215	14,923	15,866	14,595						
	B. 執行済額	14,074	14,143	14,923	15,866	14,462						
	うち交付金充当額	11,215	11,314	11,938	12,692	11,569						
	次年度繰越額	0	0	0	0	0						
	執行率(%) (B/A)	99.0%	99.5%	100.0%	100.0%	99.1%						
予算の状況の説明		当初18,500台程度の補助を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少により、575千円の減額補正となった。										
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況									
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度						
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助		目標 (支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)						
			実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施					
			目標 ()	()	()	()						
		実績										
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・車両航送1台につき運転手1名分(820円)の補助を行った。 ・平成26年度から事業を開始し、年々航送実績が増加傾向にあったが、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う来島自粛要請等により、当初見込みの18,500台から864台下回る17,636台の実績となった。 										
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)					
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()					
			実績	80%	100%	80%						
			目標 ()	()	()	()	()					
			実績									
進捗状況説明		本事業へのアンケート調査を行った結果、移動しやすい環境になったかの問いに「とても実感している」、「やや実感している」との回答が80%以上となっている。また、今後も継続してほしいとの回答が100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の改善や住みよい村づくりに繋がっているものとする。										

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> アンケートでは「今後も負担軽減事業を続けて頂きたい」との声が上がっており、令和3年度が事業最終年度となっていることから、今後の取組について早めの具体策の検討が必要である。 予約車両の航送について、航送の30分前には所定の場所で待機するよう村HPで周知を図っているが、未だ駆け込み乗船が見受けられるため、満車時にはトラブルの危険性が生じる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果を踏まえ、令和4年度以降の事業についても協議を進めていき、利用者へ本事業に関する今後の取組予定についての周知が必要となっている。 車両航送に係る留意事項について、村HPだけではなく公式SNS等を活用した村民や観光客への周知徹底を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 車両航送に係る留意事項について、引き続き村ホームページ及び広報誌等により周知を図るとともに、村公式SNS(インスタグラム等)を活用した周知を行い地域住民へ周知することで、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
14,462	14,462	11,569	2,893	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者は唯一の航路事業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額補正があったものの概ね妥当である。 ○費目・使途については予定通りであり、実績報告・検査を実施したところ、目的に即し適正なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-1	村花・世界のゆり植栽推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和2年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	良質なゆりの球根を購入し、村花であるてっぽうゆりと多彩な世界のゆり球根を確保し植栽することで、「夕日とロマンのフラワーアイランド」を推進し、花の島づくりによる景観形成を図り、地域活性化と観光振興を図ることができる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	3,000	3,000	3,000	19,800	3,982
	(b) 予算現額	2,972	2,874	2,998	27,137	3,652	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 28	▲ 126	▲ 2	7,337	▲ 330	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	2,972	2,874	2,998	27,137	3,652	
	B. 執行済額	2,972	2,874	2,998	27,129	3,652	
	うち交付金充当額	2,377	2,299	2,398	21,702	2,921	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	世界のゆり球根の数量が当初予定していた数量より7,750球減少したため、改定契約により減額を行った。そのため、当初契約金額より330千円減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	ゆりの植栽 てっぽうゆり 55,000球 世界のゆり 35,000球	目標	(ユリの球根購入 50,000球)	(リーフィールド公園へ植栽 50,000球)	(ユリの球根購入・植栽 70,000球)	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
		実績	ユリの球根購入 22,400球	リーフィールド公園へ植栽 33,691球	ユリの球根購入・植栽 70,191球	ユリの球根購入・植栽 82,250球	
目標							
実績							
達成状況説明	・てっぽうユリ球根55,000球、世界のゆりの球根27,250球を購入しゆり祭り会場であるリーフィールド公園及び観光地並びに沿道等へ植栽した。花は順調に開花したが、新型コロナウイルス感染症防止対策により「第25回伊江島ゆり祭り」はやむを得ず中止となった。ゆり祭りは中止となったが、村民への観賞機会を設け、観光施設及び公共施設等へ装飾を行い景観向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(28年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
			第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R2年 33,000人	目標 (33,000人)	(31,000人)	(31,000人)	(29,000人)
		実績		30,000人	30,000人	36,000人	祭り中止 実績なし
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	・第25回伊江島ゆり祭りは、新型コロナウイルス感染症対策防止措置により中止となった。てっぽうゆりや世界のゆり球根については、中止の判断が下される前に購入及び植栽を行っていたため、花は順調に開花した。村民への観賞機会を設け、観光施設及び公共施設等へ装飾を行い景観向上を図った。						

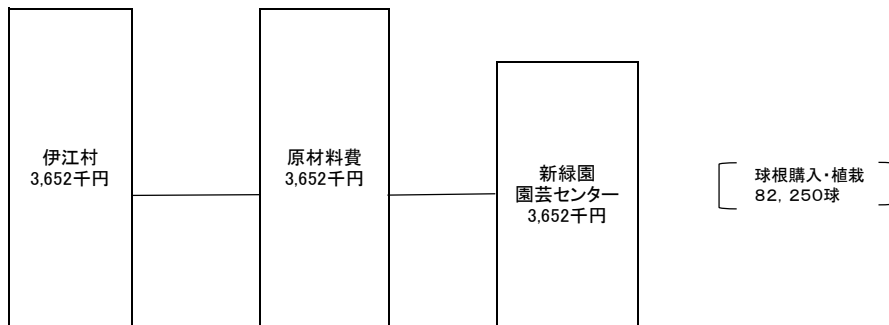
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け時期等、品種によって違うため、購入時期を慎重に検討していく必要がある。 ・古い球根や、去年の球根の植栽においては疫病にかかりやすく他の球根まで波及する恐れがある事から、今後も新たな球根を更新していく必要がある。 ・観光客は新品種や、珍しい品種を探している方が多く見受けられるので毎年違った品種を育成する事で観光客の誘客に繋げる必要がある。 ・球根購入にあたり新型コロナウイルスによる生産減少が思慮されることから、早めに受注することも検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品種在庫状況や数量等の調整を図り、注文時に不足がないよう調整する必要がある。 ・人気の品種や珍しい品種等を取り入れ、観光誘客の向上に繋げる必要がある。

今後の取り組み方針

・購入する品種及び数量の状況確認を行いながら、品種及び数量の選定を行うが、コロナウイルス感染症等による生産影響により希望数量が購入できない場合は、随時協議し決定する。
 ・購入後は植え付けまでの期間の保管期間を徹底し、植え付け期間は開花日数を逆算し植栽を行う。
 ・新品種の球根を導入することにより、「ゆり祭り」の魅力をさらに向上させ、観光誘客に繋げる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,652	3,652	2,921	731	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選択した業者は70,000球以上の球根を短期間に調達できる唯一の業者であり、選択は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見積を徴収し決定したので予算規模、事業内容とも適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	観光地クリーン事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和2年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制整備	
事業内容	魅力的な観光地として景観形成及び観光客数の維持・増加を図る為、観光地の美化及び保全をし、観光客の受け入れ態勢を強化する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	18,000	21,000	20,100	20,800	51,700
	(b)予算現額	21,466	19,846	17,881	20,731	51,700	
	(c)増減額(b-a)	3,466	▲1,154	▲2,219	▲69	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	21,466	19,846	17,881	20,731	51,700	
	B.執行済額	21,466	19,846	17,737	20,731	51,700	
	うち交付金充当額	17,173	15,877	14,189	16,584	41,360	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	・観光地環境美化保全【主な美化保全観光施設】城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村	目標	()	()	(3か所)	(8か所)	
		実績	/		3か所	8か所	
		目標	()	()	()	()	
		実績	/				
達成状況説明	今年度より、伊江村の観光地等における美化作業及び緑化木管理等を民間事業者へ受注し業務を行った。定期的に観光地等の美化作業や樹木の管理を行うことができたため、以前より景観向上に寄与することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(28年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	(70%)	(80%)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		70%	100%	100%	100%
		目標	()	()	()	()	()
		実績	/				
	進捗状況説明	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答が100%であり、目標値の80%以上を達成することができた。					

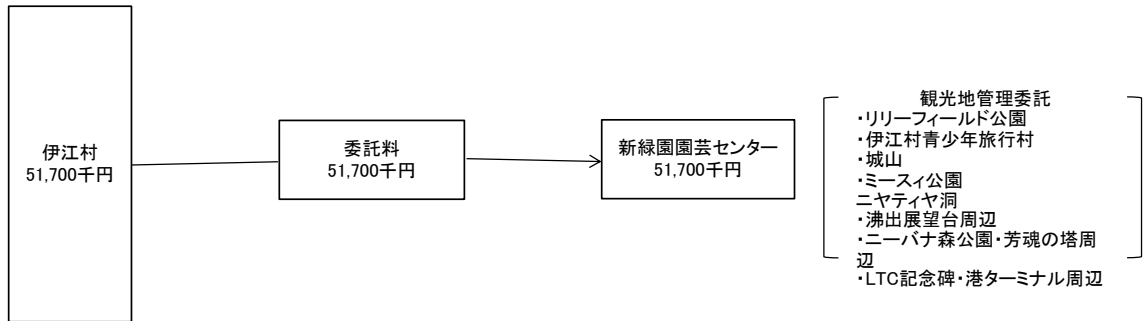
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・季節により観光地等の美化作業及び緑化木管理等の業務方法が異なるため、受注業者と適宜現場を確認し、業務遂行していく必要がある。(除草、剪定等) ・4月から業務遂行を図る為、発注スケジュールを計画的に遂行する。 ・取り組み実績を把握するため、適宜現場での立会い、写真管理等により現場状況をしっかりと確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地美化作業及び緑化木管理等の業務遂行における機械化の導入より効率化が図れることから、受注業者と遂行方法及びスケジュールの確認を密に行う。 ・時期により台風等による災害が起こった場合は協議を行い、双方の協議により復旧における業務の範囲を確認する。

今後の取り組み方針

・委託業務により業務を遂行する為、適宜に現場確認や、状況確認を行う。
 ・観光地美化による作業日程管理、作業個所の優先順位や方法等、最適な作業効率化を図り、観光地として景観向上に引き続き取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
51,700	51,700	41,360	10,340	0



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、プロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	観光誘客整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	村の観光振興を図る為、青少年旅行村リニューアル基本計画の策定、伊江村観光情報発信調査業務、伊江ビーチクリーン整備業務等による観光誘客を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	61,700	94,450	105,000	125,984	49,298
		(b) 予算現額	201,937	96,071	100,505	78,913	47,114
		(c) 増減額(b-a)	140,237	1,621	▲ 4,495	▲ 47,071	▲ 2,184
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	201,937	96,071	100,505	78,913	47,114
		B. 執行済額	201,937	96,071	100,505	78,913	47,114
		うち交付金充当額	159,859	76,857	80,403	63,130	37,690
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初予算額より2,184千円減額は入札残による減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	コインシャワー施設の整備	目標	()	()	()	(コインシャワーの設置)	
		実績				コインシャワーの設置完了	
	伊江村青少年旅行村リニューアル基本設計の策定	目標	()	()	(基本構想策定)	(基本計画策定)	
		実績			基本構想策定完了	基本計画策定完了	
	観光情報発信調査業務の実施	目標	()	()	()	(観光情報発信調査業務)	
		実績				観光情報発信調査業務完了	
	ビーチクリーナー、トラクターの購入	目標	()	()	()	(ビーチクリーナー及びトラクターの購入)	
		実績				ビーチクリーナー及びトラクターの購入完了	
村内観光情報発信を目的としたテレビの設置	目標	()	()	()	(テレビの設置)		
	実績				テレビの設置完了		
県内外の観光イベント等でのPR活動の実施	目標	()	()	(イベント等PR活動)	(イベント等PR活動)		
	実績			イベント等PR活動	10月ツーリズムEXPOのみ参加		
達成状況説明	コインシャワーの設置やビーチクリーナーの購入など観光地の機能向上を図る事業を行った。また、伊江村青少年旅行村リニューアルにむけて、基本設計を策定した。 伊江村の観光情報の発信を強化する為の65型テレビの購入・設置、これからの伊江村への誘客向上を図る観光情報発信の調査業務委託を行った。 イベント等でのPR活動に関しては、コロナウイルス感染症の影響により10月のツーリズムEXPOのみの参加となった。						

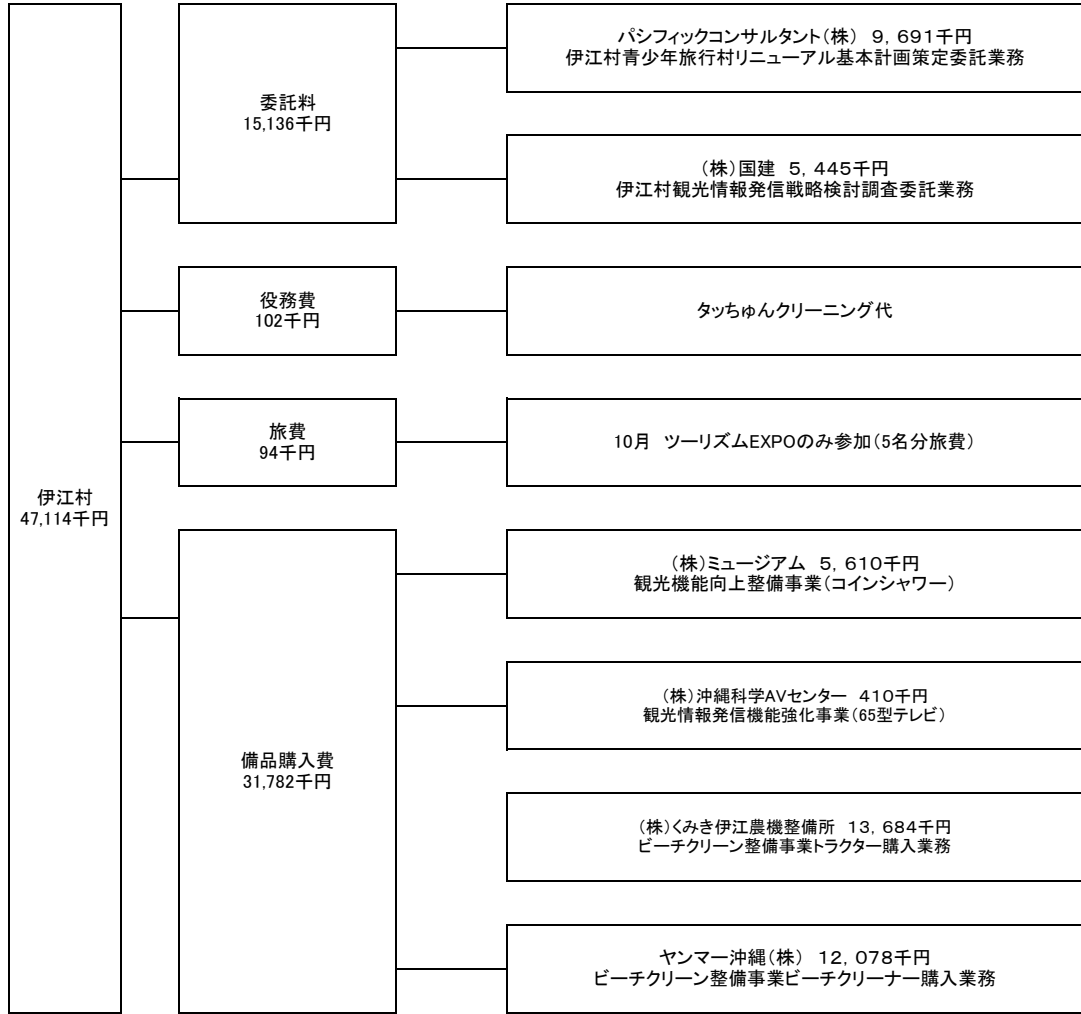
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	
	①青少年旅行村来場者数 R2:30,000人	目標	()	()		(30,000人)	()
		実績				4,600人	
	②集客イベントでのブース来場者数 【県外】 OKINAWA祭り:1,000名 緑十字機を語り継ぐ会:500名 民俗芸能関東公園:500名 【県内】 やんばる産業まつり:500名 離島フェア2020:1,500名	目標	()	()	()	(ブース来場者数 県内:500以上 県外:1,000人以上)	()
実績					コロナウイルスの影響 によるイベントの中止 により実績無し		
進 捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年旅行村リニューアル基本計画策定会議を開き、観光関連事業所や、各組織の代表間で意見交換を行い基本計画を策定する事ができた。 ・青少年旅行村の来場者をR2年度は30,000人を目標値にしていたが、コロナウイルスの影響による観光客の減により大幅に目標値を下回った。 ・イベントでの集客に関しては、コロナウイルスの影響によりイベントを開催することができず、集客実績を出すことができなかった。 (10月に開催されたツーリズムEXPO(県内実施)のみ参加。伊江村ブースへの集客数は700人) 						

取 組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年旅行村リニューアル基本計画をもとに、各機関との連携を密にするとともに基本設計を進めていく必要がある。 ・コインシャワーの設置、ビークリーナーの購入による利便性の向上や青少年旅行村の機能向上に資する取り組みについて、観光客や修学旅行生等の周知し、さらなる観光誘客に力を入れる必要がある。 また、イベントに関しては、感染症対策を講じた上での開催を考える必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も観光施設の機能強化を図り、更なる観光客の受け入れ態勢を強化することで、伊江村の観光振興の向上につなげる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客の減少が見受けられるので、村公式SNS(インスタグラム等)での周知を積極的に行い伊江村の認知度及び誘客の向上を図る。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象外経費
47,114	47,114	37,690	9,424	0



資金の用途の流れ、点検、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は一般競争入札より選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残は減額し、不用額もないことから予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	確かな学力を育む学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
	担当部署名	伊江村教育委員会教育行政課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	教育機会の拡充			
事業内容	小中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身に付けさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立していくための土台づくりを行う。							
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,304	20,304	15,876	15,876	22,134	
		(b) 予算現額	19,590	16,143	14,828	13,940	27,077	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 714	▲ 4,161	▲ 1,048	▲ 1,936	4,943	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		19,590	16,143	14,828	13,940	27,077	
	B. 執行済額		19,590	16,143	14,828	13,940	27,077	
	うち交付金充当額		15,672	12,914	11,862	11,151	21,661	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		(c)増減額4,943については、当初配置予定人数の9名から12名の配置に伴う増額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	小学校(2校6人配置)	目標	(2校8名)	(2校6名)	(2校6名)	(2校6名)		
		実績	2校6名	2校8名	2校7名	2校8名		
	中学校(1校3人配置)	目標	(1校4名)	(1校3名)	(1校3名)	(1校3名)		
		実績	1校3名	1校3名	1校3名	1校4名		
達成状況説明	学習支援員配置については、小学校に8名、中学校に4名の学習支援員を配置し目標を達成することが出来た。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	目標		()	県平均正答率との差 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差 小学校2ポイント以上 中学校4ポイント以上	県平均正答率との差 小学校2ポイント以上 中学校4ポイント以上	()
	実績			県平均正答率との差 ○小学校3年 国語:-4.6 算数:-2.9 ○小学校4年 算数:-1.8 ○小学校5年 国語:-4.1 算数:-4.4 理科:-1.4 ○小学校6年 算数:+11.9 ○中学校1年 数学:-6.8 ○中学校2年 国語:-3.7 社会:-5.8 数学:-1.5 理科:-0.3 英語:-0.8	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語:+3.3 ○小学校4年 算数:+3.6 ○小学校5年 国語:-1.3 算数:-0.1 理科:-3.9 ○小学校6年 算数:-15.8 ○中学校1年 国語:-7 数学:+3.6 ○中学校2年 国語:-2.9 社会:+3.0 数学:+4.6 理科:-0.3 英語:+6.1	県平均正答率との差 ○小学校3年 R2年度未実施 ○小学校4年 R2年度未実施 ○小学校5年 国語:-4.8 算数:-1.8 ○小学校6年 国語:-4.1 算数:+1.6 ○中学校1年 国語:-7 数学:-13.4 英語:-7.8 ○中学校2年 国語:+7.2 数学:+10.5 英語:+6.9		
進捗状況説明	・令和2年度に行われた県到達度調査において、小学校3年・小学校4年についてはコロナウイルス感染症の影響により未実施。令和2年度、成果目標を達成できたのが中学校2年国語:+7.2、数学:+10.5、英語:+6.9となっている。また、小学校6年においては目標値には達しなかったが算数で+1.6を上回る結果となった。小学校5年国語にて前年度よりも落ち込みが見られるが、落ち込んだ原因を究明し今後の授業改善へとつなげる手立てとする。中学1年数学においては-13.4と開きはあるが、前年度よりも2.4の改善が見られ今後も生徒の実態に即した授業改善を行う。							

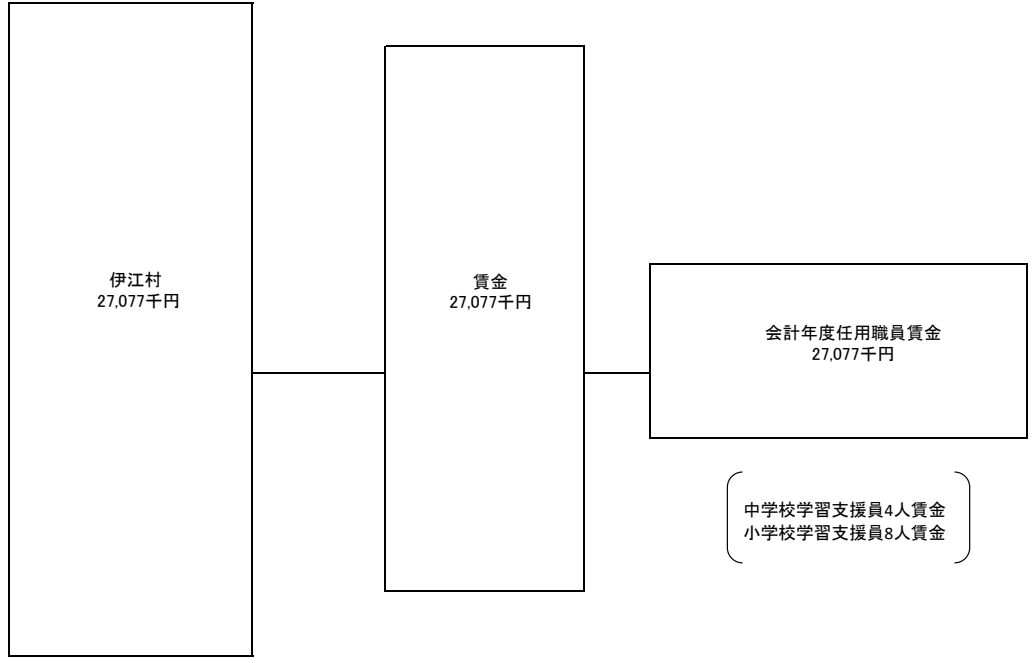
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>達成できなかった要因 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年国語・算数、小学校6年国語において、県平均を上回ることができなかった。各学年ともに国語において4.0ポイント以上の開きがあり、児童の課題(学習状況)を明確にし、授業改善にあたる。算数におきましては5年においては開きはなく、6年では+1.6と上回ることができた。 <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生においてはどの教科においても県平均を下回る結果になった。しかし、数学においては前年度の結果と比べると2.4の改善が見られ生徒の実態に即した授業展開が今後も期待される。中学校2年においては、全教科3ポイント以上の成果目標を達成したが、3年生においても高校進学を見越して更なる授業の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・教科担任の授業改善が進み、各学校における校内研修での取組みが数値として表れている。また、担任・教科担任だけでなく、学習支援教諭がきめ細かな学習支援を行うことで、困り感を感じている児童生徒の学習意欲向上へとつなげることができた。 ・小学校においては県平均との大きな差はなく、今後も児童の実態に即した授業展開を行い、困り感を感じている児童へは担任と学習支援教諭が連携を図り学力向上へ努める。

今後の取り組み方針

・毎月開催している、村主催の学習支援教諭研修会において「困り感」のある児童生徒へのアプローチ・支援の仕方について、先行事例や各学校での成功体験などを共有し、支援教諭同士の横のつながりを重視した研修会を行っていく。
 ・学習支援教諭と担任や教科担当との連携を重視し、児童生徒の学習状況の進捗や児童生徒の学習意欲の情報共有を常日頃から行うことで共通理解の元、学習を進めることができる。・学習支援教諭の安定的な確保に努め、管理職との連携を図り継続的な研修会の機会を設ける。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,077	27,077	21,661	5,416	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村賃金職員雇用管理規則等に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○すべての学校において、目標数の支援員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

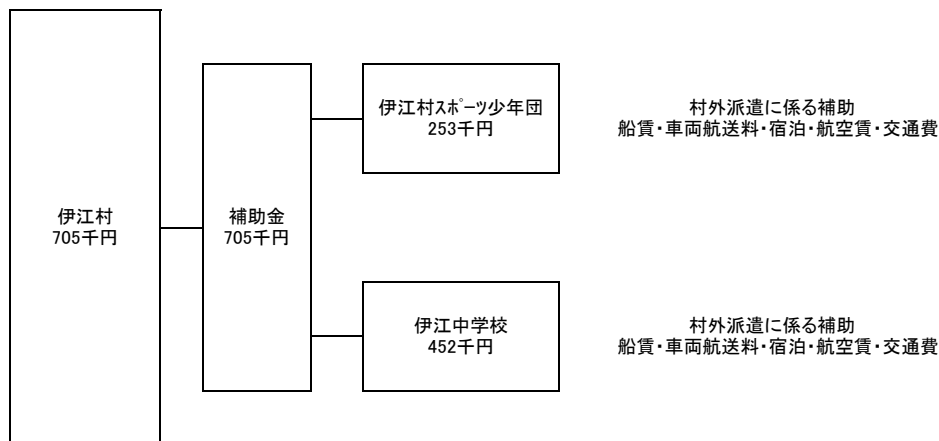
市町村名		伊江村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	各種大会派遣費助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	伊江村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。						
効果発現年度	■当年度 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,700	3,700	3,700	4,400	4,400
		(b)予算現額	3,671	4,094	2,043	3,918	705
		(c)増減額(b-a)	▲29	394	▲1,657	▲482	▲3,695
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	3,671	4,094	2,043	3,918	705
		B.執行済額	3,671	4,094	2,043	3,918	705
		うち交付金充当額	2,936	3,275	1,205	3,134	564
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	前々年度(H30)の実績を見込み予算計上をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、大会中止や大会参加自粛により例年よりも大幅に件数が減ったため、3,695千円の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	各種大会派遣費の助成:1,550人	目標	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	
		実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地区大会など県内大会への派遣活動となった。 例年よりも大会数が減り、限られたチャンスの中で児童生徒の技術力向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 村外派遣 伊江中学校 327名、スポーツ少年団 335名						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		未実施	88.60%	89.6%	
【参考指標】 各種大会派遣人数:1,550人	目標	()	(1,000人)	(1,000人)	(1,550人)	()	
	実績		907人	2,139人	662人		
進捗状況説明	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が89.6%であった。 このことから、技術力・競技力の向上や交流の機会をもつことで、村外の児童生徒に対しても臆することなく交流ができた、村内の児童生徒の視野が広がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年よりも大会数が減り派遣人数の当初目標を下回る結果となった。しかし、村外の児童生徒との交流は、限られたチャンスの中でも村内の児童生徒が広い視野を持つことで、技術力・競技力の向上が図られた。</p>	<p>・各種競技の申請者(中学校教員・スポーツ少年団会計担当)を集め、本事業に係る説明会を引き続き行う。対象経費に関する書類の管理や保管を共通理解を持つ。また、社会的環境においてキャッシュレス(カード払い)での精算は、本村では対象外経費として扱っているため引き続き周知する。</p>

今後の取り組み方針
<p>・各種競技の申請者は、毎年度変わるため事務手続きの注意事項や本事業に係る説明会を引き続き年度始めに行う。 ・児童生徒の広い視野を持つことができたどうかの検証について、引き続き保護者アンケートで実施する。</p>

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
705	705	564	141	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に照らし合せ、補助対象者を適正に選定しており、妥当であったと考えている。 ○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%であるため、予算規模は適正であったと考えている。 ○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であったと考えている。 ○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	伊江村型就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-カ		
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)の推進 Ⅲ-1-(2)		
事業内容	中学を卒業と同時に親元を離れ、島から旅立つ子ども達のために、早い段階からジョブシャドウイングや職業人講話、卒業生トークライブをとおして将来の夢や目標を持つとともに、自立に向けた自己イメージの習得、及びキャリア教育と就業意識の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,993	5,125	5,794	5,800	5,850
		(b) 予算現額	3,392	5,064	5,676	5,800	5,234
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 601	▲ 61	▲ 118	0	▲ 616
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	3,392	5,064	5,676	5,800	5,234
	B. 執行済額		3,392	5,064	5,676	5,800	5,234
	うち交付金充当額		2,713	4,054	4,100	4,640	4,187
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初、本島へのジョブシャドウイングの実施予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響により、伊江村内での事業実施となったため旅費等の予算を減額(616千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	企業訪問・体験1回	目標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	
		実績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	
	職業人講話4回	目標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	
	卒業生による進路講話1回	目標	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(進路講話開催)	
		実績	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	
	島のみりよく発見隊1回	目標	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	
		実績	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学生では事前学習から企業訪問、事後学習及び発表会を行い、村内の職業について深く知る機会となった。 中学校にてさまざまな職種の方を招き、中学卒業から今の仕事に就くまでの経過や心境を聞くことができた。 高校生を講師として高校生活に必要な事、これからの目標、一人暮らしの体験などを聞くことができた。 学校推薦により選抜された小・中学生が、ICT技術を活用し、子供たち目線での「伊江村の魅力」について調べ動画撮影・編集・発表・SNSへの掲載までを行い、全世界に向けて伊江村の魅力を発信した。 						

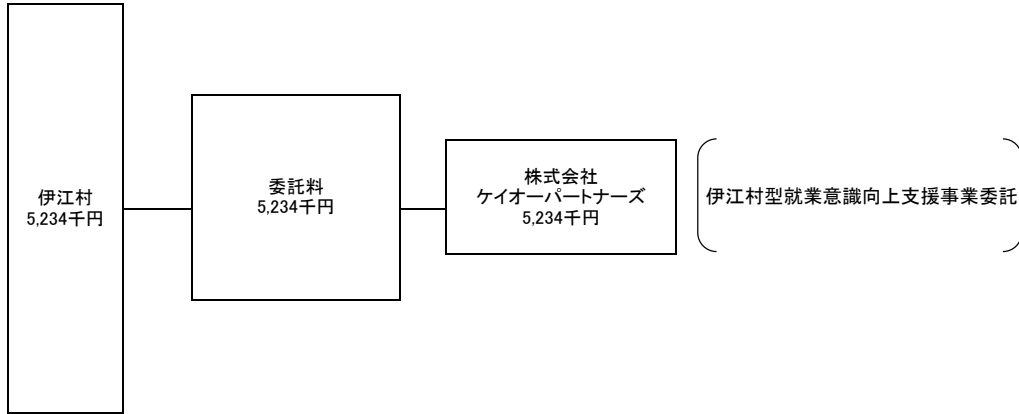
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業へのあり方を検証する。	目標 () () () () () () 実績 98% 98% 95%				
【参考指標】 企業訪問・体験(小学生)6年生95%	目標 () () () () () () 実績 97% 97% 90%					
【参考指標】 職業人講話(中学1・2年生)90%	目標 () () () () () () 実績 98% 98% 97%					
【参考指標】 卒業生による進路講話(中学3年生)90%	目標 () () () () () () 実績 95% 95% 94%					
【参考指標】 島のみりよく発見隊(中学生)90%	目標 () () () () () () 実績 100% 100% 100%					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に事前・事後学習の時間を用い、村内の事業所へ訪問することで小学校学習指導要領で謳われている「探求型学習」へ繋げるとともに村内の職業について学ぶことができた。 中学生を対象に村内在住の方や村外で活躍する村内出身者を講師として、中学卒業後から現在の職業に就くまでの過程・体験談をとおり、どのように目標を探していくか等、中学校生活や進路選択について講話を実施することで、進路選択の視野を広げることができた。 伊江中学校卒業生の高校生を講師として中学生を対象に高校生活に必要な事、一人暮らしの大変さ、今後の目標設定等の講話を実施し、15歳で親元を離れることの大変さや周りの協力の大切さなどを経験した、身近な先輩方から貴重な話を聞くことができ、自分自身の将来をイメージするきっかけとなった。 みりよく発信に関しては、児童生徒自ら伊江村の魅力を調査し、ICT技術を活用した取り組みを行なった。それにより全世界へ魅力の発信やGIGAスクール構想へと繋げることができた。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生のキャリア教育については、新型コロナウイルスの影響により伊江村外でのジョブシャドウイングを実施することが出来なかったため、村内にて「探求型学習」をテーマとした取り組みを行った。 成果目標達成について、委託事業者・教育委員会・学校において十分に連携し、事業を実施できたことが要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ過においても事業を実施出来るよう、職業人講話などはZoomを活用したりリモートでの開催などを検討することで、村外講師による講話なども見込めるため、様々な職種の人選を行なうことができ、就業意識向上につながる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 同事業を継続して行っていくことで、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋げ、将来の本村を担う人材育成を図る。 ICT技術を活用した事業の実施、GIGAスクール構想との繋がりが、コロナ過でのキャリア教育につなげる取り組みを築いていく。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,234	5,234	4,187	1,047	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。 ○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-① 離島における陸上養殖可能性調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(イ)		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	本村において、モズク養殖を行っているが気象変動により養殖環境が悪化し安定生産が見込めないことから、スジアオノリの試験栽培に取り組むことで、本村に適した品種を選定し養殖を実施し漁業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度				
	(a) 当初予算額	24,684	14,400				
	(b) 予算現額	24,580	12,884				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 104	▲ 1,516				
	(d) 繰越額	—	—				
	A. 計 (b+d)	24,580	12,884				
	B. 執行済額	24,580	12,884				
	うち交付金充当額	19,664	10,307				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額1,516千円については、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度			
	試験栽培の実施	目標	(試験栽培の実施)	(試験栽培の実施)	()	()	
		実績	試験栽培の実施	試験栽培の実施			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	スジアオノリ等の陸上養殖に係る実証実験及び概略検討業務を行い、生産計画や販売計画等の策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)	
		目標	()	(品種の選定)	(品種の選定)	()	()
	試験栽培による品種の選定	実績		品種の選定完了	品種の選定完了		
		目標	()	()	()	()	()
	【R4成果目標】 調査及び試験栽培を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	実績				(生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖)	
進捗状況説明		令和2年度については主に夏場の陸上養殖に係る生育状況等について調査を行った。また、複数の種苗、液体肥料等を試し、水温変化等の影響を考慮したうえ、年間生産計画を算出した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のスジアオノリ等の試験栽培において、夏場での生育状況も良好であり、年間を通した栽培が可能であることが分かった。 ・今後の流通販路や品種株について、伊江村、伊江漁協、高知大学、(株)阿波市場(徳島県)による覚書の締結を行い、推進体制の構築が図られていることから、早期整備を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年スジアオノリの需要が非常に高まっていることもあり、今後の施設整備に向けて早期に取り組む必要があるとともに、課題等の抽出を行う。 ・今後の伊江村、伊江漁協、高知大学、阿波市場による生産体制について連携を密にすることで、整備後の陸上養殖技術の支援等、安定生産・安定出荷に向けた取り組みを行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・伊江村、伊江漁協、高知大学、阿波市場との共同研究により、施設整備に向けた指導助言及び良質な藻類の安定生産を図り、本村及び県内漁業の更なる活性化に取り組む。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,884</td> <td>12,884</td> <td>10,307</td> <td>2,577</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,884	12,884	10,307	2,577	0			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,884	12,884	10,307	2,577	0										
<pre> graph LR A[伊江村 12,884千円] --> B[補助金 12,884千円] B --> C[伊江漁業協同組合 12,884千円] </pre> <p>〔試験栽培による品種の選定〕</p> <p>〔ほか、漁協負担分(交付対象外経費)〕</p>														

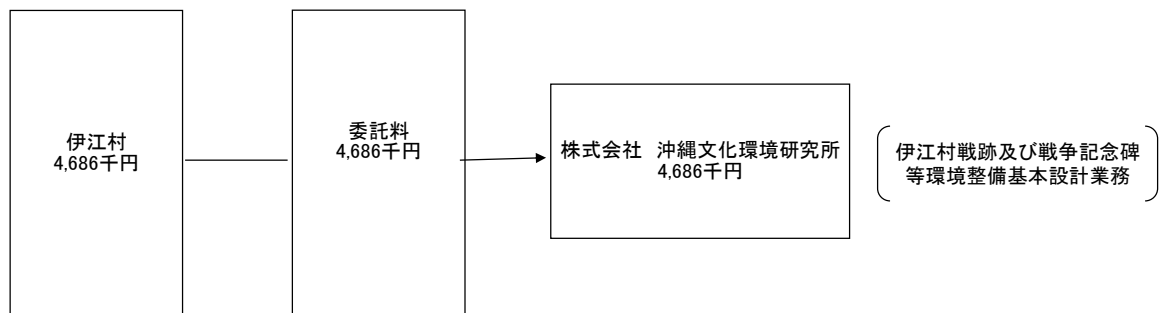
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○陸上養殖可能性調査業務にあたっては、村内唯一の陸上養殖の経験がある伊江漁協へ補助金を支出しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は、総事業費の2割を負担しており、事業内容から判断して妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途に関しても検査した結果、適正と判断した。

市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア) 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000				
		(b)予算現額	4,686				
		(c)増減額(b-a)	1,686				
		(d)繰越額	—				
	A. 計(b+d)		4,686				
	B. 執行済額		4,686				
	うち交付金充当額		3,748				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度				
	基本設計の策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	伊江村戦跡及び戦争記念碑等の環境整備に係る基本設計業務を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	目標年度(R5年度)		
	基本設計の策定完了	目標	()	(完了)	()	()	
		実績		完了			
	【参考指標】 施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	()	
		実績					
	進捗状況説明	今年度は整備予定地の選定や概算工事費の算出等とりまとめを行い、活動目標であった基本設計の策定を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は戦跡の周辺整備に向けた候補地の選定等を行い、令和3年度については、実施計画及び、実施設計を行う。 ・整備後においては、平和学習等での活用方法について課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画・実施設計においては、平和学習等生きた教材として活用するため、AR・VR等の活用など戦跡等活用の仕組みづくりや活用のあり方について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>・令和3年度については、より詳細な情報の提供と活用可能な写真等映像資料の抽出や各地点で紹介する内容・方法の検討を行うとともに、専門家及び島内有志者(体験者等)へのヒアリングを実施し、内容の確認を行うなど、連携を深めることで、より効果的な平和学習へと繋がるよう取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,686	4,686	3,748	938	0



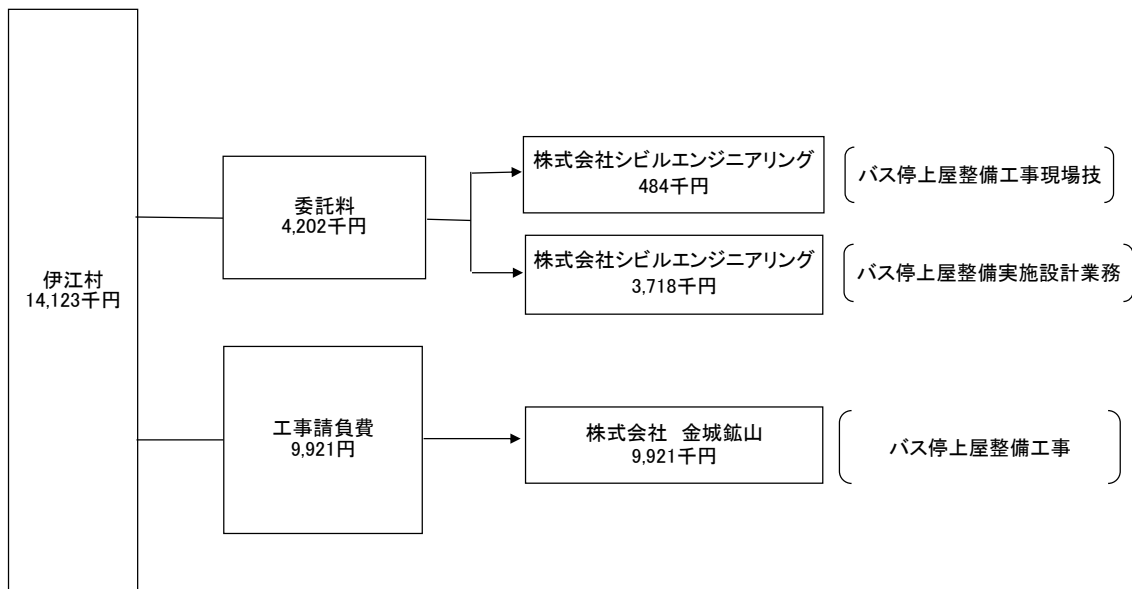
資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	バス停上屋整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-(ウ)		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保		
事業内容	観光客等が快適に公共交通機関を利用できるよう、村内主要バス停4箇所にバス停上屋を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			令和2年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	14,102				
		(b)予算現額	14,123				
		(c)増減額(b-a)	21				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		14,123				
	B. 執行済額		14,123				
	うち交付金充当額		11,298				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な事業執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度				
	バス停上屋の整備(4箇所)	目標	(4箇所)	()	()	()	
		実績	3箇所				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・バス停上屋の整備については、当初4基設置予定であったが、1箇所の整備予定地について、分筆業務等に時間を要したため、年度途中で目標を3基の整備とすることに変更し、3基の整備がなされた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	目標値(R3年度)		
	バス停上屋の整備完了(4箇所)	目標	()	(4箇所)	()	()	
		実績		3箇所			
	【R3成果目標】 ・観光客等が快適に公共交通機関を利用できる環境が整備されたか(80%以上)を含め利用者へアンケート調査を実施することにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%)	()
			実績				
進捗状況説明	・バス停上屋の整備については、当初4基設置予定であったが、1箇所の整備予定地について、分筆業務等に時間を要したため、年度途中で目標を3基の整備とすることに変更し、3基の整備がなされた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客や住民等利用者の多いバス停上屋を整備したことにより、日差しや雨風を防ぐ快適な施設環境の確保が図られた。 ・今年度整備が見送りとなった1箇所について、次年度早急に整備を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度については、未整備箇所の整備を早急に進めるとともに、その他バス停についても、上屋設置の必要性について検討を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・既に設置をした3箇所のバス停上屋については、利用状況を把握や適正な維持管理を行い、公共交通機関の快適な利用環境の確保に努めるとともに、新たに設置が必要な箇所が無い引き続き検討・調査を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,123	14,123	11,298	2,825	0



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	